

会計決算を認定

平成28年
9月定例会

27年度決算認識について問う！

9月定例会は、8月25日から9月21日までの28日間を会期として開かれました。28年度一般会計補正予算を始めとした9議案のほか、27年度各会計の決算認定16件、同意1件、報告7件が提出されました。そのほか、請願1件が審議されました。また、17人が一般質問を行いました。

【問】市政全般における決算の認識は。

【答】今後のまちづくりの指針となる第6次総合計画を策定し、定住・交流促進施策を明確にした。まち・ひと・しごと創生総合戦略

を策定し、人口減少社会を見据えた今後の基本目標や重点施策について定めた。ファシリテイ推進の指針となる2つの計画をまとめ、

公共施設適正配置計画のモデル地区において意見交換会を実施し、今後の推進に向けた取り組みを行った。

放課後児童クラブの増設や開設時間の延長、地域包括ケアモデル事業の拡充、桜ヶ丘ミュージアムでの多くの展示事業や市野球場の改修など市民ニーズの高い事業を数多く実施した。これ

ら事業の成果により活気ある、将来に希望が持てるまちづくりが推進できた。

【問】財政の健全化に向けた取り組みの成果は。

【答】実質公債費比率などの4つの指標でいずれも基準値を大きく下回り、健全性を保つ水準である。また、継続的に取り組んでいる市債残高の削減により、公債費は22年度と比較して16億4千万円の削減ができ、将来負担の軽減に寄与している。基金では積み立てを増やす取り組みを行い、財務

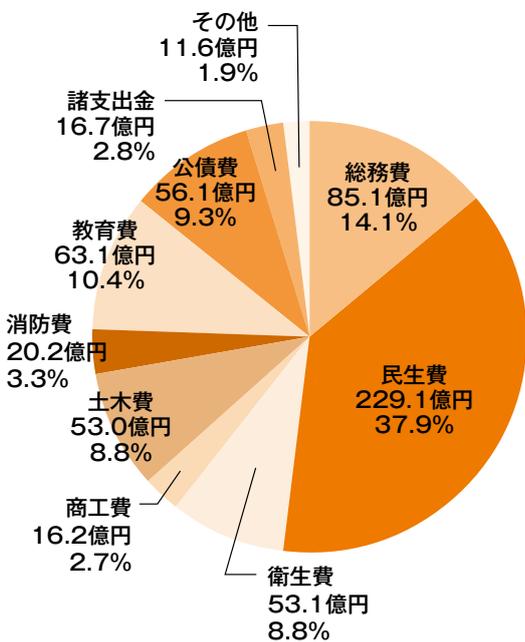
体質の改善をしているが、全国では平均以下であるため、さらなる取り組みが必要であると考えます。

【問】社会保障関係費の増大に対応するための財政運営は。

【答】社会保障関係費の増大に対応するための財政運営は、

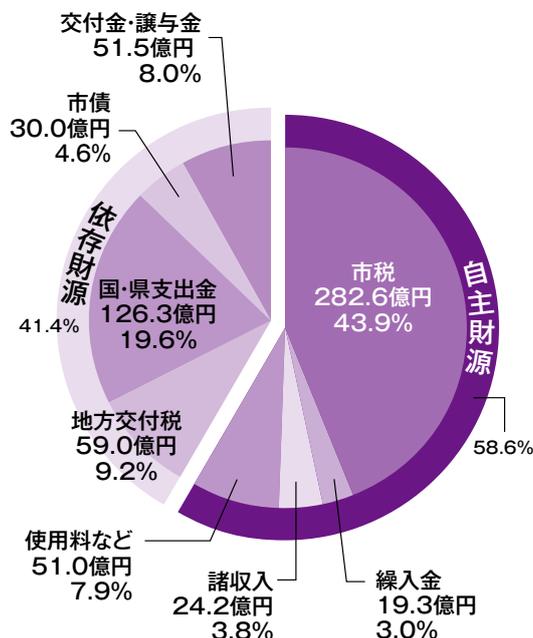
一般会計歳出

総額 604.2億円



一般会計歳入

総額 643.9億円



平成27年度一般

27年度各会計決算の状況

会計名		収入済額	支出済額	
一般会計		643億8,911万円	604億2,190万円	
特別会計	豊川西部土地区画整理事業	8億7,480万円	3億2,163万円	
	豊川駅東土地区画整理事業	5億9,221万円	4億1,465万円	
	公共下水道事業	49億5,075万円	46億9,965万円	
	農業集落排水事業	1億365万円	9,046万円	
	公共駐車場事業	9,282万円	6,992万円	
	国民健康保険	202億5,929万円	197億150万円	
	後期高齢者医療	19億7,912万円	19億6,832万円	
	介護保険	121億103万円	117億6,488万円	
	土地取得	3億113万円	2億9,373万円	
	一宮財産区管理事業	136万円	56万円	
	赤坂財産区管理事業	489万円	289万円	
	長沢財産区管理事業	617万円	224万円	
	萩財産区管理事業	1,794万円	825万円	
	企業会計	水道事業	収益的	35億9,199万円
資本的			3億2,560万円	19億8,943万円
病院事業		収益的	144億9,558万円	143億9,116万円
		資本的	4億17万円	19億4,862万円
合計		1,244億8,760万円	1,211億2,450万円	

※1万円未満は四捨五入しており、合計額は一致しません。

【答】 民生費は前年度と比べ大きく伸びている。少子高齢化の進展に伴い、今後も増え続けると予想され、国は消費税増税分を社会保障関係費に充てるとしているが、消費税の再延期により財源確保が厳しい状況となっている。中期財政計画に反映させ、将来を見据えた財政運営に取り組む。

【問】 地方消費税交付金が大幅増となった理由は。 【答】 消費税率の引き上げによる増税前の駆け込み需要や、その反動による消費動向の変動、消費税の納付と地方消費税交付金の交付時期にタイムラグが生じることなどから見込みが難しく、予算と決算に誤差が生じる結果となった。

反対!!

実質賃金の低下や年金の削減、消費税や物価高で市民生活が苦しい中、国民健康保険料や介護保険料が値上げされ、市民の暮らしを支える施策が不十分である。支所機能が大幅に縮小され、職員数は5名程度になっているが、支所での期日前投票、防災、地域振興の機能を持たせるなど充実を目指すべきである。また、八幡駅周辺の工場跡地での文化会館や大型ショッピングモールの開発計画は、これまでのまちづくりとの整合性がない。旧町の3つの文化会館の廃止、市プールの廃止の検討の方針が出されており、反対する。

主な討論

平成27年度一般会計決算の認定

賛成!!

歳入では、リーマンショック以来の厳しい状況の中、今後必要となる公共施設整備基金や子ども・子育て応援基金などへの積み立てを行い、将来の負担に備えた対応がされている。また、歳出では、まちづくりの指針である第6次総合計画や、まち・ひと・しごと創生総合戦略が策定され、定住、交流、子育て、地域づくりの具体的な施策が定められた。子育て支援では、保育所の受け入れ拡大、放課後児童クラブの増設など子育てしやすい環境整備が進められている。子どもたちの世代に負担を残さない持続可能な行政運営であるものと期待し、賛成する。

※会派別賛否の状況については、7ページの議決状況の一覧でご確認ください。

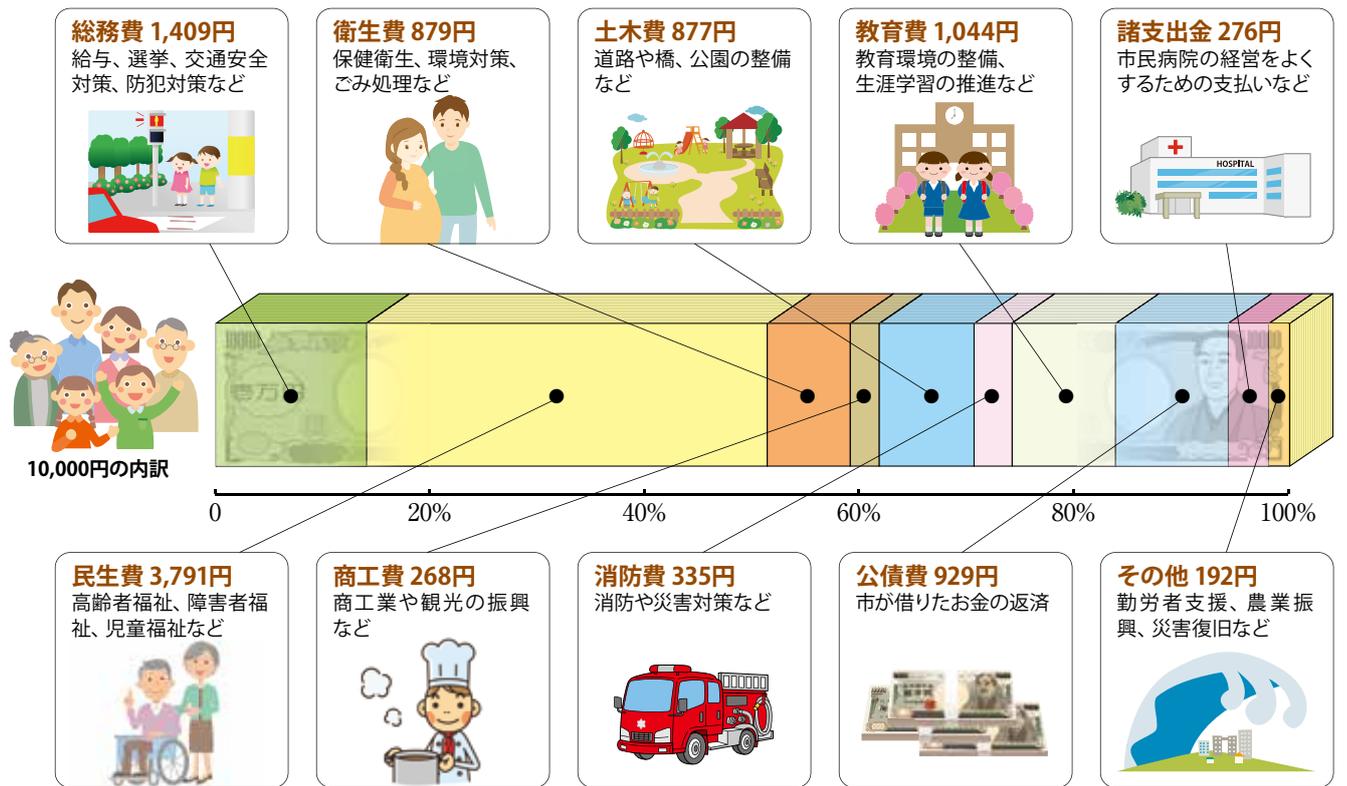
賛成



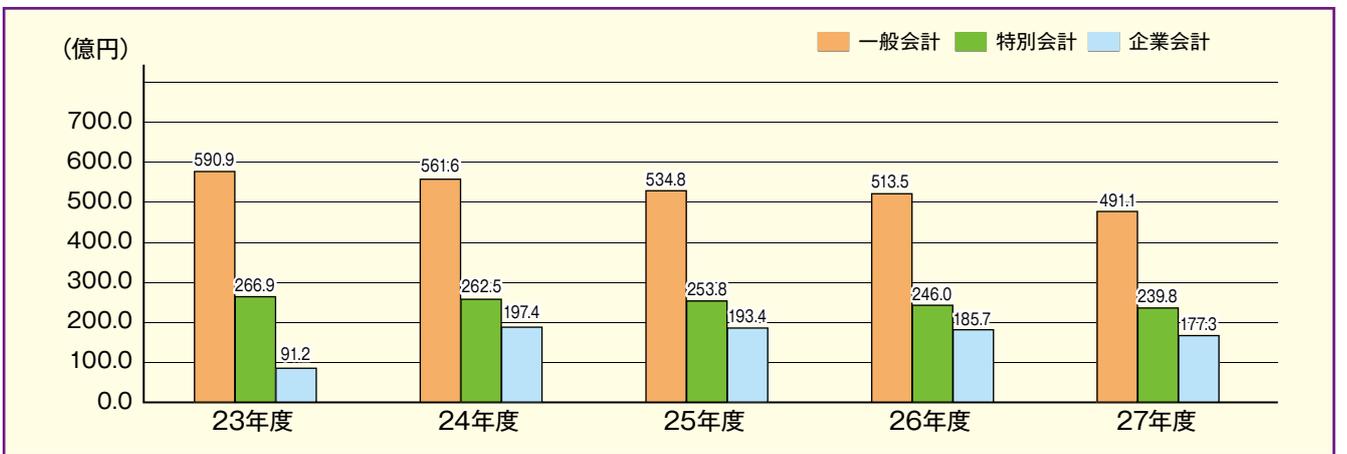
反対



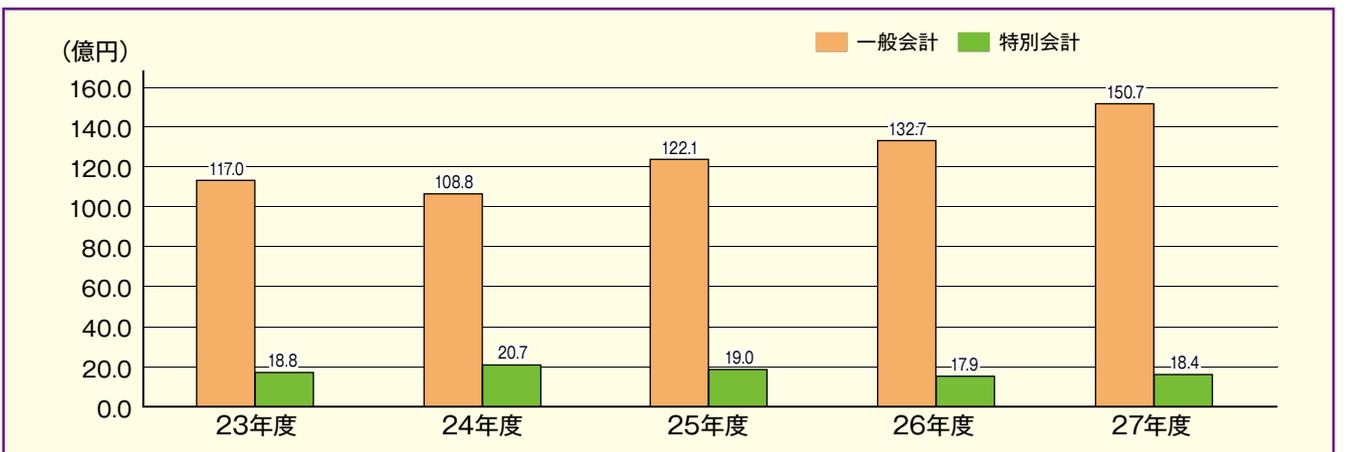
10,000円を例にして、皆さんの税金が何に使われているか見てみましょう。



市債 (借金) の5年間の推移



基金 (貯金) の5年間の推移





平和祈念式典開催 573 万円
(豊川海軍工廠被爆 70 周年 再現劇)

主な事業

27 年度決算の総括

「豊川市中長期財政計画」及び「豊川市行政経営改革アクションプラン」により、積極的な財政の健全化に取り組むとともに、第 5 次総合計画に基づいた各種施策について、「選択と集中」を引き続き推し進めることにより、適正な財政運営を行いました。



あかさか児童館改築 8,686 万円



津波ライン設置 (33 カ所) 470 万円



市野球場改修 1 億 1,153 万円



東部小学校校舎改築 7 億 7,856 万円
(25 年度からの 3 力年事業のうち 27 年度分)